



パネラーからの回答

先日開催された人間探究科・自然探究科進学説明会では、私たち1年生が受検期の経験等を対話形式で発表する「パネルディスカッション」を行いました。本資料は、説明会のお申し込み時にご記入いただいた「聞いてみたいこと」に対する私たちパネラーからの回答です。本校の定期考査期間を挟んだため、公開が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。また、質問を分類しまとめて回答させていただくことをあらかじめご了承ください。

Q1: 受検期はどんな心境でしたか？ また、どうやってモチベーションを保ったらいいですか？

昨年の私も、みなさんと同じように不安でいっぱいでした。特にこの時期になり、部活を引退して、学校行事もないまま、日々勉強に集中していると、どうしても模擬試験やテストの成績ばかりが気になってしまうと思います。点数や合格判定に一喜一憂する人も多いでしょう。まずは、そんな自分を否定しないことが大切だと思います。教科ごとの弱点の理由を考える、人に相談する、もしくは割り切って目の前のことに集中することで前向きになれる場合もあるかもしれません。ぜひ、自分なりの対処法を考えてみてください。そして、自分の考えた対処法に自信を持ってください。

そうは言っても、自分の目標を見失い、モチベーションが下がることもあるかもしれません。そんなときには、ぜひ堀川高校の学校案内のパンフレットを見てみてください。

「自分は堀川に行ったら何をしよう？」「どんなことを学ぶのだろう？」想像を膨らませていくうちに、強い意志が持てると思います。

受検当日、みなさんが自信をもって「大丈夫だ」と思えるよう祈っています。

Q2: 日々の勉強と受検対策についてアドバイスをお願いします。

学習方法の一例をあげました。勉強法に万人共通の「ベスト」はありません。ぜひ自分に合った方法を見つけてください。

○英語

問題の量がとても多く、時間配分に気をつける必要があります。学校説明会で配布された昨年度の検査問題を一度解き、自分がどのくらい時間がかかるのかをみると良いでしょう。どの順番に解くのが良いのか模索し、自分に合った方法を見つけるべきだと思います。

○数学

小さなミスが大きな間違いにつながることが多い教科です。ミスの原因は十人十色なので、自分が今まで受けてきたテストを参考にしながら、自分がどのような形式の問題で何のミスをしているのか考えてください。抽象的なことから具体的なことに絞って考えることで、自分のミスへも対策がしやすいのではないのでしょうか。

○国語

国語では、一度本文に目を通した後、問題文を読み、もう一度本文に戻るということが必要です。もちろん、問題に目を通してから、本文を読むという方法もありますが、いずれにしても、本文のどこに何が書かれていたかを素早く理解するために読みながら自分が大切だと思うところに線を引いたり印をつけたりするとよいかもしれません。

○社会

教科書に載っている単語を個々に覚えるのではなく、一つの流れとして理解することが大切だと思います。ノートを見返したときに、授業の流れを思い出せるように少しメモをつけておくとうよいと思います。

○理科

教科書で学んでいない新しい概念が説明され、その説明から自力で考える問題もあります。新しい概念が導入された時は戸惑ってしまいますが、問題文中に全てヒントが存在しているため、読解することで解くことができます。問題の文章や、用語の解説の文章が長く、見落としかねないこともあるため、数値には必ず印を付けるというようにルールを決めておくとうよいかもしれません。

Q3: 入学後、どんな学校生活を送っていますか？

堀川高校の授業はスピードが速く、しっかりついていくためには、予習・復習が欠かせません。特にスピードが速いと思うのは、英語と数学です。その結果、一日の勉強の割合は英語・数学が多くなっているように思います。勉強はなかなか大変ですが、部活動に加入し、両立をしている人は多いです。部活に入るのも、いい選択だと思います。

ここで、一つの例として、僕（パネラーの一人）の一日を紹介したいと思います。

平日は16時15分頃に終礼が終わります。その後、僕は18:00まで部活動でバレーボールをします。夜は、数学の復習（1時間くらい）をしたあと、各教科の課題に取り組むようにしていますが、疲れている日はそのまま眠ってしまうこともあります。休日には、多くの課題が出るので、計4時間くらいは勉強時間をとることになります。それに加え、苦手な教科の予習・復習もやっています。しかし、そんな中でも流行のドラマやアニメなどをNetflixやHuluで観て楽しむ時間もとっています。充実した週末のひとつときはあっという間に過ぎていきます。

これはあくまでも僕の例です。ある勉強好きの友人は、帰宅後や休日はずっと勉強していることが多いそうです。いずれにしても、みんなに共通しているのは、勉強に追われているのではなく、それぞれの趣味や楽しみと両立させていることだと思います。自分の授業の理解度や目標に合わせて、自分に合った学習リズムを身につけるのが大切ですね。

堀川の生徒は、まじめに見えていつも面白いことを考えている人、いつもはふざけていてもここぞという場面で真剣になる人など、とても多様性があります。そのため、自分の個性がきちんと表現できます。その個性がよくあらわれるのが文化祭です。僕のクラスは七月ごろから約二か月間かけて講堂劇を作りました。道具・照明・キャストなど役割は様々でしたが、皆が「完成」という目標に向かうことで、クラスの関係が深まりました。

文化祭本番は、二日間、他クラスや他学年のパフォーマンスも見ることができて、すごく楽しかったです。

今年四月～五月の休校期間中は、オンラインで出された学校からの課題を、教科書を読んで、自力で行っていました。普通の学校生活が送れず、毎日個人で勉強するのは大変でしたが、自分なりの目標をもって頑張っていました。

Q4: 堀川高校に入学してどんなことを感じましたか？

○学習面について

授業の中では、「対話」の時間がたくさんあります。生徒同士で、思ったことを共有するのです。その中で、自分とは違う答えや考えに出会うこともあり、そういう新発見は、とてもワクワクするものです。また、たくさん考え、自分なりの答えを出す。そしてそれを人に聞いてもらい、自分も聞く。そういう人との関わりの中での学びはとても貴重なものだと感じています。

○仲間たちについて

とにかく堀川の人たちは個性豊かです。(一人あげるなら、漢文の授業で習った句法をテーマにしてLINEスタンプを作った人がいます)。世間一般では異端とされることでも、ここでは全て「個性」として認められます。そういう環境は、僕たちの長所を伸ばし、短所を互いに補い合うには不可欠だと思っています。

○最大の魅力

僕は堀川に来てから、変わったことがあります。思ったことが言えるようになったのです。中学校までは、学校で「あいつは常に正しい」と思われているように感じていたのですが、あっているかわからないことをなかなか言えませんでした。堀川では、思ったことを言えば、まずはそのまま受け止めてもらえますし、みんなで考えることができます。それぞれがそれぞれの視点で考えて、つまり本当の意味で「聞いて」くれるのです。考えることに際限を与えない環境に、僕は感謝していますし、堀川に来て一番よかったと思うことです。

まとめに代えて

最後までお読みいただき、ありがとうございました。いただいた全ての質問には回答できませんでしたが、みなさんの悩みの解消や大切な選択に少しでもお役に立てればうれしいです。受検までの期間も残すところあと少しとなりました。みなさんの健闘を心から応援しています。